Gastro-Health Now

ＮＰＯ法人
日本胃がん予知・診断・治療研究機構
Certified Non Profitable Organization
Japan Research Foundation of Prediction,
Diagnosis and Therapy for Gastric Cancer (JRF PDT GC)

目　次

◆ 日本人における生年別の健常胃粘膜の割合 …… 1
◆ あとがき・お知らせ …… 4

印刷　日本データ・サプライ(株)03-3918-6111

発行所　NPO法人
日本胃がん予知・診断・治療研究機構
〒108-0072
東京都港区白金1丁目17番2号
白金タワーテラス棟 609号室
電 話　03-3448-1077
FAX　03-3448-1078
E-mail：info@gastro-health-now.org
http://www.gastro-health-now.org

2023.6.15
第93号

日本人における生年別の健常胃粘膜の割合

はじめに

上部消化管二重造影撮影法を用いて胃粘膜診断を行った分析からわかったことを紹介したい[1)]。

Helicobacter pylori（ピロリ菌）が発見され[2)]、この菌が胃がんの発生と関連が深いことが明らかになり、わが国においても胃がんの大部分がピロリ菌の慢性感染や惹起する萎縮性胃炎と関連している[3)]。ピロリ菌が陰性の未感染の健康な胃に胃がんが発生することは希である一方、ピロリ菌陽性者では、現時点では男性で17.0%、女性で7.7%が85歳までに胃がんになると報告されている[4)]。わが国でピロリ菌の感染（有病）率が徐々に低下していることは、これまでの多くの論文が報告しているが、感染の有無は血清や尿の抗体検査によるもの[5)] である。

日本人成人における生年別の正常胃粘膜（健常胃）の割合

茨城県メディカルセンターにおける人間ドックはその殆どを上部消化管造影検査によりスクリーニング検査を実施している。2007年度から要内視鏡検査の判定と合わせ背景胃粘膜診断を行い受診者に通知している。

一般財団法人 茨城県メディカルセンター
消化器・内視鏡センター長
齋藤　洋子

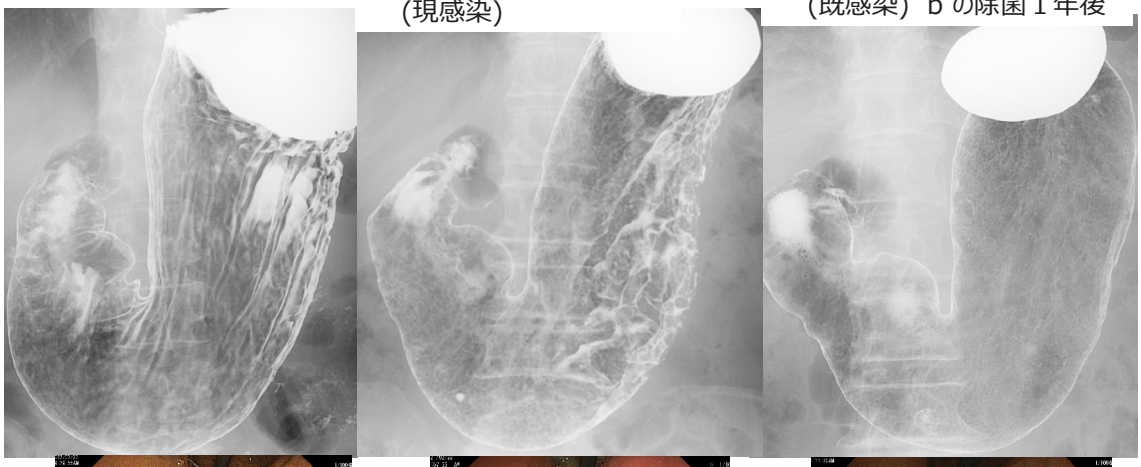
2007-2019年度受診者216,152人のうち、1935年から1985年までの5年毎の生年と1990年以降生まれを一つの生年とした計12のグループを抽出した。

14枚の造影X線画像のうち、二重造影法の6枚を背景粘膜の診断に使用した（図1と文献1のFig.2）。X線画像による健常胃の胃小区や襞は、炎症や萎縮のある胃粘膜、特に腸上皮化生を伴う胃粘膜とは異なる[6)]。その基準に則り、健常胃粘膜（図1a）とピロリ菌感染に関連した活動性や非活動性の胃炎（図1-b,c）を診断し、対象を健常胃と胃炎の2群に分けた。X線検

図１　背景粘膜診断 上部消化管二重造影画像（背臥位正面位）

（文献1 Figure 1 改変）

a 未感染胃粘膜（健常胃）　b ピロリ菌感染活動性胃炎（現感染）　c ピロリ菌感染非活動性胃炎（既感染）b の除菌１年後



（参考：内視鏡画像）

EG-L580NW7

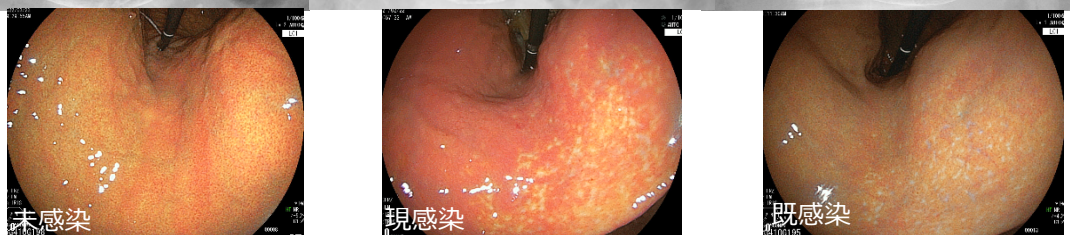
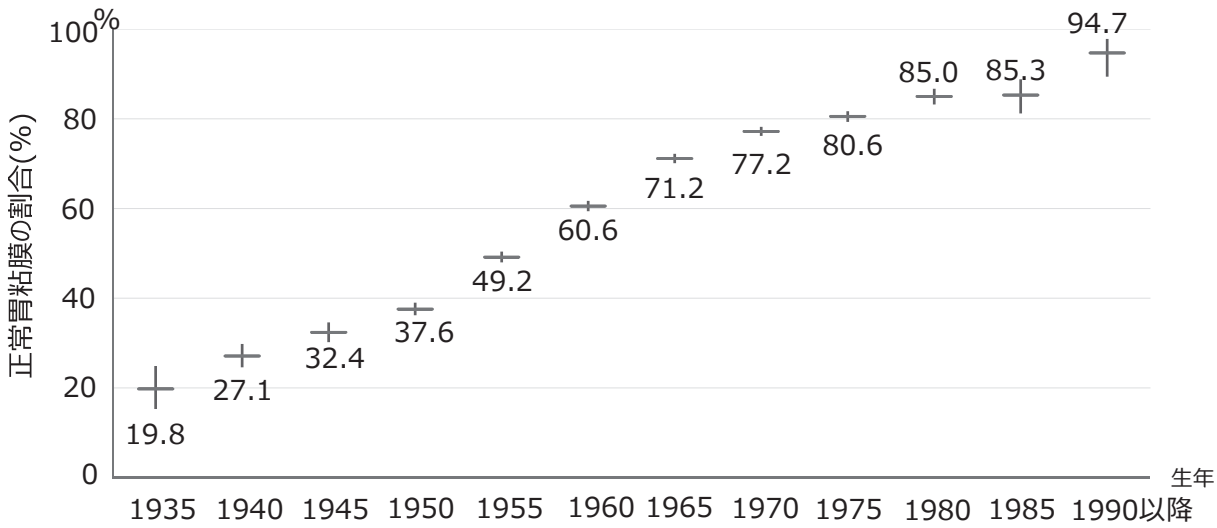


図２　上部消化管X線二重造影検査受診時の生年別の正常胃粘膜の割合

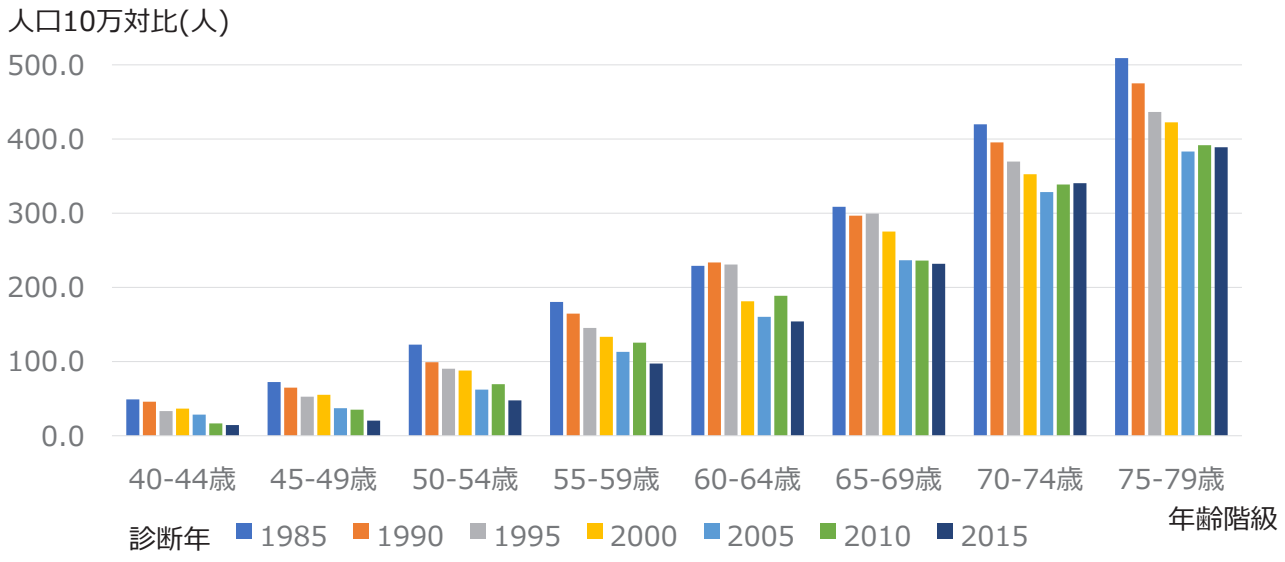
（文献1, Figure 4 改変）



生年別の40･50･75歳時の西暦

40歳	1975	1980	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030
50歳	1985	1990	1995	2000	2005	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040
75歳	2010	2015	2020	2025	2030	2035	2040					

図３　胃がん 年齢階級別実測罹患率(人口10万対比)年次推移(1985～2015年)
(高精度地域実測値：年齢階級別がん罹患年次推移データ)



国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん罹患モニタリング集計（MCIJ））

査診断後にピロリ菌の抗体検査結果を照合した。

X線で胃炎と診断された15,884人は除菌歴の有無に関わらず分析に含め、健常胃と診断された26,073人から除菌歴があった649人は分析から除き、25,424人を健常胃として分析した。12のグループ毎の結果を図2に示す。1935年から1990以降生まれに向けて直線的に健常胃の割合が増加し、胃炎の割合は減少していた。健常胃と診断された対象は、全例ピロリ菌抗体陰性であった。

システマティック・レビューによるわが国のピロリ菌感染率は、1934年以降低下していることが示されている[5]が、今回それを形態的に示すことができた。

ピロリ菌未感染の正常胃粘膜（健常胃）の割合が増加していることで考えること

わが国の対策型の胃がん検診は、1983年から40歳以上逐年のX線検査、2016年から50歳以上隔年として内視鏡検査も選べる形で実施されている。また、検診とは別に2000年から胃・十二指腸潰瘍に対する除菌治療、2013年から慢性活動性胃炎に対する除菌治療が保険診療でできるようになった。わが国の1985年から2015年の胃がん年齢階級別実測罹患率は、全ての年齢階級で低下している（図3）[7]。1985年から2015年までの5年毎の50歳年齢時の健常胃の割合は19.8%から71.2%に増加している（図2）。こうしたことからは、胃癌の罹患の減少は健常胃と胃炎の割合に大きく関連していると考えられる。年齢区分のみで検診対象者として全員に実施している現在の胃がん検診のあり方は再考が必要である。

文献

1）Saito Y, et.al. Jpn J Clin Oncol 2022; 52(10):1143-9
2）Warren JR, et al. Lancet 1983; 1(8336): 1273-5
3）Uemura N, et al. N Engl J Med 2001; 345(11):784–9.
4）Kawai S, et al. Int J Cancer 2022; 150(1):18–27.
5）Wang C, et al. Sci Rep 2017; 7(1):15491.
6）Nakajima S. Springer Nature Singapore Pte Ltd, 2019; 106–12.
7）Updated trends in cancer in Japan: J Epidemiol 2021; 31: 426-450

あとがき　本93号は、（一財）茨城県メディカルセンター消化器内視鏡センター長／（一財）県医師会　理事／県警察本部健康管理医　齋藤洋子先生による「日本人における生年別の健常胃粘膜の割合」のご寄稿です。受診者216,152人のうち、X線画像から生年別に5年ごとの12グループを抽出し、25,424人の健常胃と胃炎の2群に分け、さらにピロリ菌抗体検査の結果を照合し検討を加え、現在の胃がん検診の在り方は再考が必要であると結論した、JJCO（2022年）誌に掲載された、大変興味深い論文の要旨です。齋藤先生の今後益々の御発展と御活躍を、心より祈念申し上げます。(M)

告知

NPO 法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構　主催

第15回 白金カンファレンス

日　時：11月10日（金）18:00～19:30（開場 17:30）

場　所：東京グランドホテル 3 階 桜の間

（東京都港区芝 2-5-2 都営三田線 芝公園駅 A1 出口 徒歩2分）

入場無料　定員 150 名

参加申込：当 NPO 法人ホームページ https://www.gastro-health-now.org/ より、第 15 回白金カンファレンスの参加申込用紙をダウンロードし、事前に FAX にてお申込みください

対 象 者：医師／医療関係者／一般市民　先着順受付

◆特別講演（18：10~19：00）

「消化器内視鏡の将来を展望する ―日本から世界へ―」

講師　田尻久雄 先生　世界内視鏡学会理事長／東京慈恵会医科大学名誉教授

司会　藤城光弘 先生　東京大学大学院医学系研究科　器官病態内科学講座 消化器内科学分野教授

事務局より　お知らせ

■ 令和5年度　ご支援のお願い

令和５年度も引き続き胃がん撲滅に向けて活動してまいります。みなさまのご支援をよろしくお願いいたします。

【寄付および賛助会員】令和５年度（令和５年４月１日～令和６年３月 31 日）

賛助会員（個人）1口 3,000円　　賛助会員（法人）1口 30,000円

当機構は平成25年5月29日に認定NPO法人となり（初回）、平成30年度の更新（2回目）からは、賛助会員（個人）1口3,000円、賛助会員（法人）1口30,000円ご寄付に対し、税制上の優遇措置が認められておりました。現時点では、諸般の事情により、従来の寄付金への税制優遇が適用されない事態となっております。適用可能となりました場合、改めてお知らせいたします。ご迷惑をおかけいたしますが、暫くご猶予の程、何卒よろしくお願い申し上げます。

■ お振込み先

＊三菱ＵＦＪ銀行　目黒駅前支店　普通預金 No. 0008527
特定非営利活動法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構 理事長 三木 一正
＊郵便振替　00130-9-429200　日本胃がん予知・診断・治療研究機構

☆お振込の際、ご親族・職場等、複数の会員様でまとめる場合は、お手数ですが払込取扱票の通信欄に全員のお名前をご記入下さい。

■ 転居・所属変更・退会希望等は、お早めにFAX・メールにて事務局までお知らせ下さい。

NPO法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構
電話　03-3448-1077　FAX　03-3448-1078　E-mail：info@gastro-health-now.org

決算報告書（第15期）自　令和４年４月１日　至　令和５年３月31日
NPO日本胃がん予知・診断・治療研究機構

【貸借対照表】

令和５年３月31日現在（決算）

科　　目	当年度	前年度
Ⅰ資産の部		
流動資産		
現金貯金	14,555,421	13,256,517
現金	19,824	18,719
三菱UFJ銀行	11,305,981	11,408,788
ゆうちょ銀行	3,229,616	1,829,010
前払金	175,000	175,000
流動資産合計	14,730,421	13,431,517
固定資産		
その他固定資産		
器具備品	1,108,413	1,108,413
敷金	165,000	165,000
その他固定資産合計	1,273,413	1,273,413
固定資産合計	1,273,413	1,273,413
資産合計	16,003,834	14,704,930
Ⅱ負債の部		
流動負債		
預り金	109,691	4,593
前受金	41,000	85,000
流動負債合計	150,691	89,593
固定負債		
減価償却累計額	1,108,403	1,108,403
固定負債合計	1,108,403	1,108,403
負債合計	1,259,094	1,197,996
Ⅲ正味財産の部		
一般正味財産	14,744,740	13,506,934
正味財産合計	14,744,740	13,506,934
負債及び正味財産合計	16,003,834	14,704,930

【収支計算書】

令和４年４月１日から令和５年３月31日（決算）まで

科　　目	予算額	決算額
Ⅰ事業活動収支の部		
経常収入		
会費収入	1,180,000	1,035,000
正会員会費収入	80,000	87,000
賛助会員会費収入	1,100,000	948,000
事業収入	3,500,000	4,051,189
出版物等発行事業収入	1,500,000	2,244,000
検査指導事業収入	2,000,000	1,807,189
寄付金収入	6,000,000	6,871,000
寄付金収入	6,000,000	6,871,000
その他収入	100	111
受取利息	100	111
他会計からの繰入収入	1,500,000	4,027,049
その他事業会計からの繰入金	1,500,000	4,027,049
経常収入計	12,180,100	15,984,349
経常支出		
事業費支出	8,720,000	9,663,165
シンポジウム・講演会開催事業費	1,200,000	1,245,630
広報、啓発事業費	100,000	108,570
調査研究事業費	300,000	30,981
機関紙及び研究報告書発行事業費	1,600,000	1,947,000
旅費交通費支出	100,000	89,938
事務用品費支出	200,000	561,235
給料手当支出	1,300,000	1,518,508
水道光熱費支出	100,000	123,480
賃借料支出	1,800,000	2,127,500
会議費支出	20,000	
租税公課支出	700,000	443,500
通信費	400,000	444,365
手数料支出	900,000	1,022,458
管理費支出	1,960,100	1,056,329
給料手当	350,000	168,267
福利厚生費	30,000	16,003
旅費交通費	20,000	12,726
通信費	100,000	106,081
リース費	250,000	202,176
修繕費	100,000	2,040
事務用品費	250,000	135,426
水道光熱費	30,000	15,708
地代家賃	450,000	237,500
保険料		12,700
支払手数料	250,000	129,841
社会保険	20,000	17,861
雑費	200,100	
他会計への繰入金支出	1,500,000	4,027,049
特定非営利活動事業会計への繰出金	1,500,000	4,027,049
経常支出計	12,180,100	14,746,543
事業活動収支差額	0	1,237,806
Ⅱ資産活動収支の部		
資産活動収支差額	0	0
Ⅲ財務活動収支の部		
財務活動収支差額	0	0
Ⅳ予備費支出		
当期収支差額	0	1,237,806
前期繰越収支差額	0	13,341,924
次期繰越収支差額	0	14,579,730

監　査　報　告

私は、第15期収支計算書、貸借対照表及び財産目録から構成される決算報告書を監査した結果、正確であることを認めます。

令和５年５月１日

監事　竹内靖二

竹内靖二

令和５年度　NPO日本胃がん予知・診断・治療研究機構　役員等名簿（五十音順）

理　　事　三木　一正（理事長）、乾　純和（副理事長）、藤田　安幸（副理事長）、齋藤　洋子（副理事長）、多田　正大、稲葉　裕、茗荷　昭男、伊藤　史子、降旗　千恵

監　　事　竹内　靖二

NPO 法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構 主催

第 15 回　白金カンファレンス　参加申込書

受付 No（事務局用）

白金カンファレンスへの参加を申し込みます。

下記「個人情報の取り扱い」にご同意いただいた上でお申し込みください。

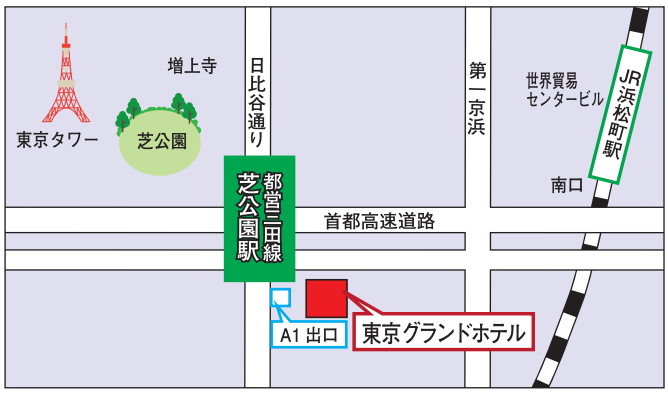
受付 FAX　03-3448-1078

※ ①〜③ 必ず、すべてご記入ください。

① お名前	(フリガナ)			
② 連絡先	TEL		FAX	
③ 分　類	1．医　師　　2．医療関係者		3．一般市民　　4．その他	

① お名前	(フリガナ)			
② 連絡先	TEL		FAX	
③ 分　類	1．医　師　　2．医療関係者		3．一般市民　　4．その他	

① お名前	(フリガナ)			
② 連絡先	TEL		FAX	
③ 分　類	1．医　師　　2．医療関係者		3．一般市民　　4．その他	



■会場へのアクセス

都営三田線　芝公園駅（A1 出口）徒歩 2 分

JR 山手線・京浜東北線　浜松町駅（南口）徒歩 10 分

■本セミナーに関するお問い合わせ先

〒108-0072　東京都港区白金 1-17-2
白金タワーテラス棟 609 号室
NPO 法人 日本胃がん予知・診断・治療研究機構
TEL : 03-3448-1077　FAX : 03-3448-1078
E-mail : info@gastro-health-now.org

個人情報の取り扱いについて

「NPO 法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構」は、この度、ご提供いただきました個人情報を以下のとおり取扱いいたします。

1）利用目的…「NPO 法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構」が企画するセミナーのご案内に利用いたします。また、次のような目的で使用することがあります。・メールニュース配信のため・お問い合わせに対する回答のため・個人情報を特定しない統計情報に利用するため

2）個人情報の提供について…「NPO 法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構」は、ご本人の許可なく第三者に個人情報を開示または提供することは原則的にはいたしません。個人情報を第三者に提供する際には、事前にご本人の同意をいただいたうえで行います。ただし、以下の場合を除きます。・警察からの要請などの官公署からの要請・法律の適用を受ける場合　なお、協力会社や広告主、その他の第三者に当社のサービスを説明する際、またその他の合法的な目的のために、個人情報を集計、分析し、個人情報を含まない形に処理した統計情報（利用者全体の傾向を示すような全体的な情報）を開示することがあります。

3）個人情報の開示、訂正等について…「NPO 法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構」は、ご本人から自己情報の開示、訂正・削除、または利用もしくは提供の拒否を求められたときは、適正に応じます。

4）安全対策の実施について…「NPO 法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構」は、個人情報の正確性を保つよう努力すると同時に、個人情報の安全管理のために安全対策を実施し、個人情報への不正アクセス、個人情報の紛失、破壊、改竄及び漏洩を防止するとともに、必要な場合は改善を行います。

5）法令・規範の遵守について…「NPO 法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構」は、確実な個人情報保護の実現のため、個人情報保護関連法令及びその他の規範を遵守いたします。

6）個人情報の管理方法の継続的改善について…「NPO 法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構」は、個人情報の管理方法を見直し、継続的に改善を実施します。

7）個人情報に関するお問い合わせ先
NPO 法人日本胃がん予知・診断・治療研究機構
理事長　三木一正
info@gastro-health-now.org